

《カトリック大和高田教会 お知らせ》 2025年1月26日

典 礼 暦	日 時 など
年間第3主日	1月26日 (日) ミサ 8:30
	1月30日 (木) ミサ 10:30
	2月 1日 (土) ミサ 8:00
主の奉献 (祝)	2月 2日 (日) ミサ 8:30
	2月 6日 (木) ミサ 10:30
	2月 8日 (土) ミサ 8:00

◎「福者ユスト高山右近殉教者の列聖を求める祈り」

すべての人の救いを望まれる神よ、
 福者ユスト高山右近は、福音に忠実に従う道を選び、
 すべての地位と名誉を捨て、
 祖国から追放されて殉教を遂げました。
 幾多の困難を進んで受け入れ、
 あなたの愛を力強くあかしした右近が、
 世界のすべての人の希望となり、
 聖人の列に加えられるように。

(右近の取り次ぎを願い、各自の意向を沈黙のうちに捧げる)

いつくしみ深い神よ、
 福者ユスト高山右近の取り次ぎによって、
 わたしたちの心からの願いを聞き入れてください。
 わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

～2017年9月26日／日本カトリック司教協議会認可～

【奈良ブロック】

◎「高山右近列福記念ミサ」

日時：2月3日(月)、10時～

場所：大和八木教会

【京都司教区】

●現時点で、京都司教区から公表されている教区内の巡礼指定聖堂は以下の通りです。

- ・京都カテドラル河原町教会 (京都)
- ・丹後教会宮津教会堂 (京都)
- ・福知山教会 (京都)
- ・奈良教会 (奈良)
- ・大津教会 (滋賀)
- ・鈴鹿教会 (三重)
- ・四日市教会 (三重)



【大和高田教会】

●主日の日本語ミサ後に『聖年の祈り』を全員で唱えます。

●「教区時報・1月号」に大塚司教・年頭書簡が記載されています。
 『聖年』を迎えるために、ご一読ください。

◎「聖書の分かち合い」(Sr.ローマ)：1月30日(木)ミサ後

◆ 教会掃除当番

2月 2日(日)ミサ後 : 奉仕日(全員)

2月 9日(日)ミサ後 : D地区

1月26日の聖歌

入祭	典	34	神に向かって	奉納	典	387	神はキリストの うちに
答唱			{聖書と典礼}	拝領	典	156	めぐみのパン
アレルヤ			{聖書と典礼}	閉祭	平	21	主よあなたの道を

【典：典礼聖歌、聖：カトリック聖歌集、平：平和を祈ろう、プ：プリント】

1月26日 年間第3主日 ルカ1章1～4節、4章14～21節 今日、耳にしたとき実現した

2019年、教皇フランシスコは年間第三主日を神のみことばの主日と定められました。A年はマタイ、B年はマルコ、そしてC年の今年はルカの福音から、いずれもイエスの宣教開始の場面が読めます。イエスが神のみことばを公に告げられた箇所であり、まさに神のみことばの主日にふさわしい福音であるといえるでしょう。

マタイとマルコはいずれもよく似ており、天の国（神の国）は近づいた、回心して福音を信じるように告げられるという内容です。ルカは異なる内容で、ナザレの会堂でイザヤの預言を朗読し、教え始められるという内容となっています。しかし、その三つの福音から、イエスが告げられた神の福音とは、イザヤの預言に表わされている内容だということがわかります。

イエスの会堂での振る舞いを見ると、なんだかユダヤ教の指導者のように偉そうにしているような印象を受けます。たしかに「諸会堂で教え」とあるので人々の前で説教するラビ（先生）の役割をしていたようでもあります。しかし、ナザレのような田舎では字の読める人も少なかったと思われるので、安息日の集會に旧約聖書の朗読を担当するメンバーの一員だったのではないのでしょうか。

けれども、今日の場面では、イエスは会堂に集まっている人々に、はっきりとご自分の使命を宣言されます。そこで読まれたイザヤ書の61章1～2節は預言者（イザヤ）が自分の使命を語るどころです。「油を注がれた者」は「メシア」であり、もともとは預言者、王、祭司のように神から特別な役割を与えられた人のことです。イエスの時代にはそれが来るべき救い主を表す称号となっていました。イエスはご自分がそうだとはいわれませんが、メシア＝キリストとしての使命を自覚しておられたのでしょう。偉そう、というよりも権威をもって教えられたのです。たまたま手渡された巻物が、もっともふさわしいものであったということにも聖霊の働きがあったといえるかもしれません。

預言者の使命が貧しい人に福音を告げ知らせることであったことは、イエスの宣教が貧しい人、身体の不自由な人、しいたげられている人に向けて行われたことを表しています。これこそが神の国の福音であったということが、このあとのイエスの宣教生活、そして死と復活を通して明らかにされていくのです。

今日の福音で大切なのは、イエスが「今日、あなたがたが耳にしたとき、実現した」と宣言されていることです。マタイとマルコでは「天の国（神の国）は近づいた」と言われていますが、近づいたということは完成に向かってすでに始まっているということです。わたしたちが神のみことばである福音を耳にしたとき、それはもう始まっています。そのためわたしたちも協力していかねばなりません。イエスとともに歩むということは、わたしたちも油注がれた者としての使命を与えられているのです。

（柳本神父）